

ひかり

2026年5月号



日本聖公会 三光教会

第743号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

AX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

Pentecost

「イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように、父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす。」

(ヨハネによる福音書 20 : 21)

空気の話

司祭シモン・ペテロ上田憲明

「あの人は、空気のよう」という表現は、「存在感が薄い人」を表すが、よく考えてみると、空気がなくなれば人間は生きていけないのだから、「普段は気付いてないけれど、実はとても大切な人」だという意味になってもおかしくないような気もする。

最近ではKYという「空気を読めない」という意味にさえない、空気が読めるようにならないと、この世ではうまく生きていけないそうだ。だが、かといって空気を読んでばかりでは、今度は人間にとって肝心なことを忘れてしまい、それでは生きていけない。そもそも空気は吸ったり吐いたりするもので、読み物ではないとも思う。

物理的な意味での空気の成分は、(この場合、通常空気に含まれる水蒸気を除いた乾燥空気のこと)をさすそうだが、(WIKIPEDIA (<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A9%B4%E6%B0%97>))によると、窒素が約78%、酸素が約20%、残りの約2%は少量のアルゴン、二酸化炭素、さらにppm

単位の微量成分を挙げるとネオン、ヘリウム、メタン、クリプトン、水素、一酸化二窒素、一酸化炭素、キセノン、オゾン、二酸化窒素、アンモニア、二酸化硫黄などが含まれているのだそうだ。普段、生活している時は、あることさへ意識していない空気がそんなにいるるなものでできているというのは、何か不思議なように思える。

さつきから、空気の話ばかりしているのは、聖霊降臨日が近づき、聖霊の霊はヘブライ語で元々風とも、息とも訳せる言葉だからである。そして、神さまの霊がこの三光教会に関わりのある人々を通して、「三光教会の空気」を形作っているとしたら、その空気とはどんな感じなのだろうと思いついてきたからである。空気の成分表を見ながら思ったのは、三光教会の礼拝や集会によく参加している人たちが窒素、時々参加してくださる方たちが酸素として、その他にも様々な人たちが関わっていて成り立っているということだろうな、という思いが湧いてくる。その人たちが、どういう思いで関わり、どういう風に関わ

り合っているかで、独特の空気を作り出しているのかもしれない。それぞれの方が、ご自分の中で、感謝をもって関わってくださったり、喜びをもってご奉仕して下さったり、自分の生活の中で出会った人や出来事を思い祈りをささげておられたり、時には、意地だつたり、見栄だつたり、自己満足だつたりする何かから関わっておられるのかもしれない、そういう大事な事も神さまは拾い上げ、繋ぎ合わせていくのださるのではないだろうか。そして、それら全てが合わさって「三光教会の空気」が作り上げられているのではないだろうか。

もちろん悪い空気もあるかもしれない。悪い空気は排出するのが手っ取り早いかもしれないが、悪い空気も空気の一部。悪い空気を排出するのに躍起になるよりは、良い空気がより増えるようにした方が賢明だろうと思う。そのためにも私たちが人を空気のようになんていってもいなくても同じという意味ではなく、よく考えてみるとかけがえない存在として受け止めていることが、これからも三光教会の空気であってほしい、と願っている。

5月～7月の予定

◆5月

- 17日(日) 復活節第7主日(昇天後主日)
- 24日(日) 聖霊降臨日
- 25日(月) 司祭教会博士ビード
- 26日(火) 主教カンタベリーのオーガスチン
- 27日(水) 夏期聖職按手節
- 29日(金) 夏期聖職按手節
- 30日(土) 夏期聖職按手節
- 31日(日) 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日

◆6月

- 1日(月) 殉教者ジャスチン 逝去者記念礼拝
- 3日(水) アフリカの殉教者 聖餐感謝日
- 4日(木) 殉教者主教ポニフェース
- 5日(金) 聖霊降臨後第2主日
- 7日(日) 修院長コロンバ
- 9日(火) 使徒聖バルナバ日
- 11日(木) 聖霊降臨後第3主日
- 14日(日) 聖霊降臨後第4主日
- 21日(日) 殉教者オルバン
- 22日(月) 洗礼者聖ヨハネ誕生日
- 24日(水) 聖霊降臨後第5主日
- 28日(日) 使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日
- 29日(月)

◆7月

- 5日(日) 聖霊降臨後第6主日
- 6日(月) 逝去者記念礼拝
- 11日(土) 修院長ベネディクト
- 12日(日) 聖霊降臨後第7主日

「土の器」の「転校生」
クララ佐久間 恵子

4月は新しい出会いの季節であり、新しい生活を始められていたり、新しい環境に身を置き始めた方も多いと思います。かく言う私も、4月から三光教会でご奉仕するべく遣わされて参りました。聖公会神学院を卒業してはや24年が経ち、すでに5つめの任地となります。長年、それぞれの教会の皆さまが培われ、積み重ねられてきた信仰生活の只中に、後から受入れていただく「転任」は、転校生がすでに出来上がっているクラスに受入れてもらう様子に似ているなあ、と毎度思わされます。ことに私は執事という立場です。で、クラス担任？である司祭さまと、そしてともに礼拝をはじめ様々な教会活動をさせていただくクラスメートのような信徒の皆さまと、どんな出会いがあり、どんな風にご一緒に過ごして行くのだろうか、と心躍ると同時に、少しばかりの不安を抱えやって来た転校生が今の私かな…と思っております。

ます。お交わりの輪に加えてくださることをお願い申し上げます。思えばもともと体の丈夫でない私の傍らには、いつも神さまのお支えと励ましがありました。大きな喘息の発作でいのちも危なかった幼い時も、いじめに苦しんだ中学時代も、そしてそんな私の存在でも他者のために用いてもらえるかもしれないと教えられた高校時代生まれで初めてのワークキャンプの時も、大学入学と同時に始めての入院を経験した時も、すべてを御手のうちに収めておられる神さまは、この脆い「土の器」を見捨てられることなく、慰めと励まし、そして限らない愛を注ぎ続けてくださいました。自らの脆さ、弱さを十二分に分かりつつ、それでも神さまと人に仕えていきたいと思う私の願いを神さまは聞き届け、今のところ用い続けてくださっていることには、深い感謝を感じずにはいられません。いつか神さまが「お前さんはもういい」と仰られるその日まで、この「土の器」でも用いていただけることを祈り願うばかりです。

新しいクラスメートである三光教会の皆さまと、たくさんコミュニケーションをしていただき、

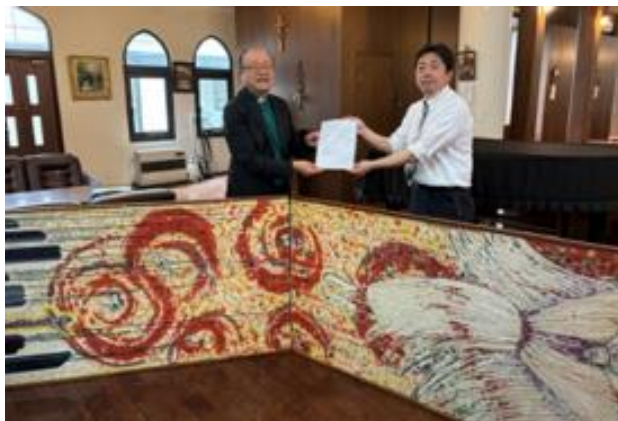
ご一緒に神さまを賛美し、神さまのご用のために歩みたいと願っております。どうか、「土の器」である「転校生」をよろしくお願い申し上げます。

斎藤正夫氏作品
「It is the Ascension Day today.」白河市へ寄贈

三光教会に長年保管されていた斎藤正夫氏（1977年作）の絵画「It is the Ascension Day today.（昇天日）」を4月30日に福島県白河市の白河市歴史民俗資料館へ寄贈いたしました。

本作品は1980年前後、当時の内田司祭が譲り受けてきたもので、寄贈元は不明です。しばらく聖堂に掲示されていましたが、改装に伴い倉庫で保管され、その後も新聖堂に掲示場所がないまま長く眠っていました。

作品の扱いを検討する中で、同資料館が斎藤氏の作品を多数所



蔵していることがわかり、真贋や寄贈の経緯について打合せを重ねた結果、受け入れていただけるとなりました。

4月30日には白河市から職員2名が来訪され、三光教会にて上田司祭から同館副館長・内野様へ正式に引き渡しが行われました(写真)。長年教会に寄り添ってきた作品が、作者ゆかりの地で新たな歩みを始めます。

(記・牟田 実)

春のワーク開催

五月晴れの5月5日(火)に春のワークを実施。

38名の参加がありました。ワークの内容としては、聖堂・会館・事務棟周りの草取り、門・ベンチシート・テーブルのペンキ塗り、駐車場のライン引き、ベストリーおよび会館厨房の整理を行いました。ご参加の皆さん、お疲れさまでした。すごくきれいになりました。

(記・牟田 実)



教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ
礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

- 主日礼拝
 - 午前 7:30 聖餐式
 - 午前 10:00 ステパノ会 (日曜学校) 礼拝
 - 午前 10:30 聖餐式
 - 午後 4:00 夕の礼拝
 - 平日礼拝
 - 毎朝 6:30 から
- 月、水、金は朝の礼拝、火、木、土は聖餐式